

応用ミクロ経済論

担当者 鎌苅 宏司

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

ミクロ経済学の応用として、現実の経済問題を考える際に必要な経済学の考え方、すなわち人々へのインセンティブの与え方や最適化問題を解く分析手法を講義します。

●講義の到達目標

この講義は、現実の社会的な課題を考える際に必要な経済学の知識を持つことを到達目標としています。

●講義計画

- 第1回 ミクロ経済学の基礎知識の確認（クイズの実施）
- 第2回 ミクロ経済学の基礎知識①経済活動の効果・消費者の行動
- 第3回 ミクロ経済学の基礎知識②企業の行動
- 第4回 ミクロ経済学の基礎知識③市場均衡・短期と長期
- 第5回 市場の機能と市場の質①市場とは
- 第6回 市場の機能と市場の質②直接交換における市場
- 第7回 市場の機能と市場の質③市場の質と市場の制度
- 第8回 前半の講義内容の確認（クイズの実施）
- 第9回 製品の質と知的財産法
- 第10回 市場内の競争と独占禁止法
- 第11回 市場間の競争と独占禁止法
- 第12回 製品の差別化と独占的競争
- 第13回 価格差別と独占禁止法
- 第14回 独占禁止法における理念とルール
- 第15回 証券市場と情報開示制度

なお、受講生のレベルに応じて教科書を選定し、その内容を講義します。講義に先立ち、manabaに教材を載せておきますので、予習・復習に役立ててください。

●成績評価基準と方法

講義内容の理解を見るため、講義時に簡単な問題（クイズ）を解いてもらいます。また、manabaを通じてレポート課題を出しますので、これらすべてを提出してください。平常点評価が100%で、定期試験は行いません。

●テキスト又は参考文献

テキストは受講生と相談して、中島隆信著『経済学ではこう考える』慶應義塾大学出版会、2014年、矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店、2001年、奥野信宏・八木匡・小川光編著『公共経済学で日本を考える』中央経済社、2017年他から選択します。参考文献は、修士論文作成に必要と思われるものを適宜案内します。

●受講上の留意点

この講義では、経済学が社会の問題や課題についてどのように考えるのかを解説します。市場取引に関する事柄が中心となりますが、贈与や寄付やボランティアなどの非市場取引に興味のある受講生も歓迎します。